

市長あいさつ

呉市は、古くから、遣唐使船の建造や、朝鮮通信使・北前船などによる大陸や日本海からの交易の地として栄えました。戦前・戦中は、世界最高水準の技術と人が集まり、戦艦大和などの艦艇の建造や航空機の開発を担うなど、日本一、そして世界でも有数の海軍工廠を擁するまちとして発展してきました。戦後は、こうした歴史や、海軍工廠の基盤・技術を生かしたものづくり産業、豊富な医療資源などを有する多様性に富んだ都市として発展し、今日に至っています。



こうした中、甚大な被害を受けた平成30年7月豪雨災害や、世界的な新型コロナウイルスの拡大、大手企業事業所の休止発表などの新たな困難が発生し、私たちの暮らしや地域経済に大きな影響を与えています。

一方で、人工知能（AI）や全ての人とモノがつながるIoT（Internet of Things）、自動運転など、様々な新しい技術が身近なものとして暮らしや経済活動に取り入れられようとしています。

こうした時代の変化の中において、私たち呉市民は、市民としての誇りを継承し、一人ひとりが主役となって、呉市のあるべき姿を描き、その実現に取り組んでいかなければなりません。このため、このたび、「第5次呉市長期総合計画」を策定しました。

本計画では、私たちのまちの未来の姿として、次の5つを掲げ、その実現に向けてチャレンジすることとしています。

- 1 質の高い生活が実現されるスマートシティ「くれ」
- 2 新たなチャレンジでビジネスチャンスを生み育てる「くれ」
- 3 都会にはない心地よい暮らしが人々を惹きつける「くれ」
- 4 災害に屈しない強靱なまち「くれ」
- 5 SDGs（持続可能な開発目標）を通して豊かな未来を創る「くれ」

これらの未来の姿を市民の皆様や企業などと共有し、呉市ならではの特性と最先端のICTなどを融合させた取組を進めながら、新しい時代にふさわしい質の高い暮らしを楽しむことができ、誰もが住み続けたい、行ってみたい、人を惹きつけるまち～イキイキと働き、豊かに安心して暮らし、ワクワク生きる～「くれ」を実現していきます。

おわりに、本計画の策定に当たり、市民意識調査や市民意見公募（パブリックコメント）などにご協力いただいた市民の皆様を始め、熱心に議論していただいた総合計画審議会や市民ワークショップの委員の皆様、呉市議会議員の皆様に対し、心から感謝を申し上げます。

令和3年（2021年）3月

呉市長 新原 芳明